

第 56 回 U-40 Club ～座談会～

開催日

2025 年 12 月 24 日

テーマ

1 人で悩むな！肝胆膵外科高度技能医 肝切編

司会

高橋 敦（順天堂大学）

Discussants

司会 他 4 名

内容

冒頭に簡単な自己紹介を行った後、肝胆膵外科高度技能医（肝切除）の申請書類について、関連するホームページを画面共有しながら、参加者全体で意見交換を行った。

続いてビデオセッションに移行し、司会である高橋が担当した右肝切除の手術映像を提示し、具体的な手技や判断について全体でディスカッションを行った。

写真

4. 手術記録の記載について【重要】

以下の記載については、書類審査免除者（以前の書類審査を合格しビデオ審査が不合格だった場合）が、審査ビデオを提出する際の手術記録審査にも適用されます。

（1）記載内容について

術者として申請する症例の手術記録は、申請者自身の記載が必要です。以下の内容は記載が必須であり、一部でも記載が無い場合は症例として認められません。箇条書きなどで、わかりやすく記載してください。（*は2024年8月1日以降の症例、**は2025年8月1日以降の症例）

- 1) 手術適応となった経緯 *
- 2) 術式選択の理由 *
- 3) 肝切除症例では、術前残肝機能評価の方法と結果 *（残肝機能評価を行わなかった場合は、その理由を明記してください）
- 4) 手術終了時の腫瘍進行度（TNM分類, Stage）*（取扱い規約に準じて記載）
- 5) 手術所見の文章
- 6) 手術所見のスケッチ（写真だけは不可）
- 7) 膵癌手術における腹腔細胞診の施行（迅速病理でなくとも良い、いわゆる永久（術中迅速では無いもの）でも良い。直前の審査腹腔鏡検査による施行も可）**
- 8) 断端の迅速病理検査について（膵癌またはIPMN手術における膵断端、胆管癌手術における胆管断端。未施行の場合は、その理由を明記してください）**

